



シルバーとなみ

ふれあい

第 24 号

平成22年4月10日発行

社団法人

発行 砺波市シルバー人材
センター

砺波市高道217の2

TEL 0763-33-4341

FAX 0763-33-5854

庄川支所

TEL 0763-82-5335

(題字) 柳原 和夫



講師役の会員の方々と、遊ぶ児童たち(伝承遊び体験学習)

去る三月二十九日(月)に通常総会が開催され、新しい基本方針や実施計画が承認され、新年度がスタートしました。特に、今年度は新公益法人の移行への諸準備の年となります。

ところで、私事ではありますが、「光陰矢のごとし」あつという間の四年間でありました。この間、会員の皆さんや職員の皆さんに助けられ、つづがなく過ごすことができました。ありがとうございます。

振り返ってみれば、統合にともなう国・県の補助金の削減を受け、財政の健全化を図るため、財政中長期計画を作成し、職員定数の見直しや経常経費の削減に努め、又、事務費の引き上げ等の財源の確保に取り組ましました。しかし、政権交代による行政刷新会議の「事業仕分け」によりさらに補助金が削減される一方、米国発の金融危機に端を発した世界的な景気の悪化を受け、日本経済も不況に陥り、民間事業所からの委託業務が減り、シルバー人材センターの契約金額が大幅に落ち込むなど、シルバー人材センターを取り巻く環境は、激動と混乱の時を迎えています。

こんな時こそ、センターの基本理念である「共働・共助」のもと会員就業基準にのっとり、ワークシェアリングに努めていただきたいと思います。

砺波市シルバー人材センターが真に会員の皆さんのための『まほろば』となることをご期待申し上げお礼とさせていただきます。

(雨池)

地域社会に愛され親しまれ、 貢献できるセンターを目指して



総会には五百三十七名(内委任状二百九十五名)が出席し、開会の挨拶で柳原和夫理事長は「世界的経済不況から脱しきれず、シルバー人材センター事業にも大きな打撃を受けました。今年度は、新公益法人への移行準備や国補助金の削減・県補助金の打ち切り等、さらなる収入源の確保、財政基盤の確立が必要になってまいります。」

「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、地域社会に愛され親しまれ、地域に貢献できるセンターを目指し事業を実施していきたいと思えます。」と挨拶されました。

この後、上田砺波市長、山田砺波市議会議長、庄司富山県シルバー人材センター連合会長(代理事務局長長堀幸甚氏)が祝辞を述べられました。
引き続き橋場剛さん(東山見地区)を議長に選任し議事に入り、平成二十二年度の事業計画案、収支予算案など三議案をいずれも原案通り承認しました。

●事業計画●

基本計画では特に、補助金の削減にともなう収入源の確保及び財政基盤の確立・運営体制の強化を図るため、引き続き補助事業への取り組みや労働者派遣事業を推進し、財政中



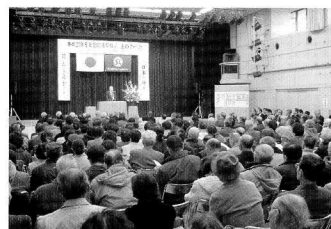
あいさつを述べる柳原会長

- 長期計画に基づく財政運営の健全化に向け、経費の削減・節減に努めるとともに、会員の就業機会の確保及び拡大のため県シ連と連携のもと企業訪問等を実施していくことを説明しました。
- そのなかで、
- (1)普及啓発事業の推進
 - (2)就業機会の確保及び拡大
 - (3)安全・適正就業の推進
 - (4)企画提案方式による事業の推進
 - (5)労働者派遣事業の推進
 - (6)生活圏域就業促進支援員の設置
 - (7)会員の加入促進及び就業相談会の開催
 - (8)互助会への支援
 - (9)講習・研修会の開催
- を基本計画に掲げています

●収支予算●

二十二年度収支予算では、当期収入合計額三億二千六百七十八万円、昨年度よりもおよそ三千八百二十一万円の減少となることを見込んでいます。

三月末現在の会員数は六百七十三名(男三百九十名、女二百八十三名)です。



熱心に審議していただきました

砺波市シルバー人材センター 互助会総会も 同時開催されました

今年度の主な事業としては

- ①研修旅行の実施
 - ②奉仕活動の実施
 - ③会員のつどいの実施
 - ④組織活動、研修会等の助成
 - ⑤同好会活動への助成
 - ⑥シルバー事業への協力・支援
 - ⑦慶弔費の支給
 - ⑧会成为り、また本会の収入は
 - ⑨会費(一人年六百元)
 - ⑩センターからの助成金
 - ⑪各負担金
 - ⑫寄付金
- などとなっております、年間総予算額は五百七十二万五千円です。

高齢者のための 調理講習会開催

二月十七日(水)、砺波市健康センターで開催され、日頃から一人暮らしの高齢者宅の清掃や除草作業など高齢者支援事業で活躍している会員さん二十名が参加しました。

講師には、砺波市健康センターの栄養士・保健師の方に努めていただき、長時間にわたりしっかりと講習を受けました。

午前中には、「高齢者にとって食べやすい食事」ということをテーマに、カロリーや塩分に気を使いお年寄りにやさしい献立を学び、試食しました。

午後からは、高齢者の健康管理を目的とした、脳のトレーニングと体操を講義していただき体を動かしました。

参加した皆さんからは、「改めて食事の大切さを再認識できました。」「簡単でおいしくなる工夫を学ばま

かた、大変有意義な講習会となりました。

慣れた手つきで、
きれいに盛り付け。



地域社会に愛され、信頼される会員に

年に一度、会員の皆さんから直接意見や要望を聞く、互助会主催の地区別会員交流会が一月二十五日から約二週間にわたり二十一地区で開催されました。

交流会の開催期間中は寒く足場の悪い日が多いなか、昨年よりも多くの方が参加され、様々な意見が聞かれ有意義なものとなりました。事務局からは、事業実績・安全就業（シルバー保険）についての報告、適正就業・会員の心得について再確認し、互助会同好会の周知について話をしました。

特に経済不況が反映して、民間事業所からの仕事の受注が激減し、昨年の実績を大きく下回っていることや、砺波市SCの特徴であった、全体の半数以上の女性会員の方が年々減少し、企業・家庭などから依頼の多い、屋内外の清掃・除草の仕事に対応できなくなっている現状を伝え、知人・友人への「声かけ」をお願いしました。

また、補助金が削減されることに對する、自主財源・補助金の確保への取組みも引き続き努力していくことを説明し、「企画提案方式」による地域社会への貢献、「シルバー派遣事業」も

引き続き取り組んでいくことをお話ししました。



◆◆◆ 皆さんの主な意見・要望 ◆◆◆

Q 会員の募集のために、市の広報に掲載してPRしているのを見たが、その方法以外で会員は募集しているのか。

A 現在、市の広報に年二回、シルバー人材センターの事業・行事などを掲載してシルバー人材センターをPRし、また、新聞に折り込みチラシを年二回入れるなどして「仕事、会員」の募集をしております。

Q 工場での就業や、軽度生活支援の仕事で、お客さんの方から当初聞いていた仕事以外の仕事を依頼されることもある。危険な仕事や、無理な仕事ではないので引き受けているが、まれに技能・技術を要する仕事や、必要以上に多くの仕事を依頼される場合がある。どのように対応すればよいのか。

A 就業現場によりいろいろな状況がありますが、どんなことでも疑問に感じたり、無理な要望等があり返事しにくい場合は、ご連絡ください。事務局の方からお客さんの方へお話をします。

Q 就業現場の安全パトロールの実態はどんなものか。巡回した結果は発表しているのか。今後のためにも結果を報告してほしい。また、事

故発生状況について、地区別交流会の場で約一年分まとめて報告があるが、事故防止のためにも、できるだけ早く知らせてほしい。

A 安全・適正就業推進委員と事務局から五名程で四月～十一月の間に毎月一回実施しています。就業現場は月によって異なり、公共・民間事業所、屋内外と様々な現場・職種を巡回しています。パトロール結果は、事務所日よりや、推進委員で特別号を作り報告させていただきます。

Q 職種別の交流会も計画してほしい。

A 現在職群別（班長クラス）の打合わせ会を実施しています。

Q 会員の登録をしても、なかなか仕事来ないという方がいる。

A 平成二十二年度も、就業相談会を三回開催します。昔、会員を登録した時の希望と異なった仕事でもやってみるなど、是非一度お話しをお聞かせください。

Q サークルや同好会を立ち上げたいと考えているが、同じ考えを持った会員がなかなか集まらない。事務局の方でPRしてもらうことはできるのか。

A 毎月発行している「事務局だより」や年二回発行している「ふれあい」という広報誌で募集の案内をしたと思います。

Q 新聞で、富山市SCがお墓の掃除に力を入れていると読んだが、砺波市SCでもやっているのか。

A 砺波市SCでも年に何件かお墓の掃除の依頼があります。ただ砺波市SCの場合は、お墓の周りの除草依頼がほとんどです。昨年度、富山県シルバー人材センター連合会の方で本格的なお墓の清掃、専用の洗剤で墓を磨く方法を学ぶ講習会を開催しました。富山県下で本格的に取り組む計画をしています。

明るい話題が望まれます



就業相談会開催のお知らせ

昨年度より取組んでいる、会員を対象とした就業相談会を開催します。

就業先での問題、就業日数の過不足、こんな仕事がしてみたい、などご意見・ご要望がありましたらお聞かせ下さい。ご参加をお待ちしております。

◎開催予定日（変更の場合あり）

①六月 二日

②十月 一日

③二月 二日（平成二十三年）

◎時間

午後二時～午後五時迄



「よっ、上手」お手玉で遊ぶ会員と児童

昔の遊びで 楽しく世代交流

「健やかな砺波っ子 子育て支援事業」の一環である、四回目の伝承遊び体験学習が一月三十日(土)、砺波市出町児童センターで開催され、十三名の会員さんが講師役となり、児童とともに昔ながらの遊びを楽しみました。

当日は、三十五名の児童が参加、開会式の後、早速興味を持った六つのコーナー(こま回し、けん玉、めんこ、あやとり、お手玉、折り紙)に分かれ、講師役の皆さんにコツを習いながら夢中になって遊びました。

最初の頃は手を添えて教えられていましたが児童たちはのみ込みが早く、すぐに自分でこまを回し、講師顔負けの一面も見られました。

最後に児童たちに感想を聞くと、こま回しは初めてだったけど練習するとうまく回せるようになってよかったです。

あやとりの技をたくさん教えてもらえてよかったです。

家に帰ってからチャレンジしたいです。

昔の遊びを知ることができ、とても楽しかったです。

と大好評のようでした。

また、講師役を務めた皆さんからも「大変良かった」「自分も童心に帰る夢中になって遊んでしまった。」と大変有意義な時間を共に過ごせたようでした。

この『伝承遊び体験学習』は平成二十一年度に四回開催し、延べ百名余りの児童が集まってくれました。今後も様々な形で地域に貢献できるセンターを目指していきます。

互助会同好会 メンバー募集

会員の皆さんの中で「和洋裁・洋服のリフォーム」などの活動を中心とした同好会を立ち上げたというお話があり、興味・関心がある方がいらつしやれば、一緒に活動したいとのことでした。詳しいことは、シルバー人材センター事務局まで気軽にお問い合わせてください。

高齢者の 事故防止について

一月二十二日(金)、アクロス中央自動車学校(庄川河畔太田西詰)にて、交通安全体験講習が開催されました。約一時間にわたり、実際に起きた事故例から、事故の原因と防止のための対策についての講義を受けました。

その後、三人一組となり車に同乗し、学校内のコースに出て、實際運転走行しながら、助手席の指導員の方のアドバイスを受けました。また一人ひとりに自分のコース走行時の安全度チェック表が渡され、個々の気をつけるべき点について再確認しました。

今回参加した二十一名は、日頃乗り慣れている車や道路とは違い、戸惑うことも多いようでしたが、その分緊張感をもって取り組んでいたようです。

講師の先生は最後に、「富山県は、『二・二・三運動』として一割のスピードダウン・二倍の車間距離・三分早めの出発を呼びかけています。皆さんも、是非心がけてください。」と締めくくられました。



手に汗握りハンドル操作

◎配分金支払い日案内◎

五月十四日(金)
六月十五日(火)
七月十五日(木)
八月十三日(金)
九月十五日(水)
十月十五日(金)

来る人 行く人

◇新任 事務局長 新川 張和
◇退職 事務局長 雨池 弘之
(三月三十一日付)

編集後記

昨年の暮れの予報では、暖冬で穏やかな冬になるだろうとのことでしたが、昨年末から年明けにかけて大雪警報が出るなど、各方面への影響は甚大で悪戦苦闘の冬でした。

その雪もすつかり消え、癒しと元気を与えてくれる雪国北陸ならではの恵みに感謝し、春への活力としたいものです。

当センターでは、仕事量の減少に国の補助金の削減と厳しい状況ではありますが、我々会員は『知恵の輪・人の輪・社会の輪』を合言葉に、お客様に喜んでいただける様に努めましょう。

そして健康で働けることに感謝したいと思います。

(広報担当 花木)